

I. 宇宙には三つの意志、すなわち神の意志、サタンの意志、人の意志があります。神は、人の意志が神に結合し、神と一になることを願っています。それによって、人は祈りの中で神のみこころを言い表し、神のみこころに呼応して、神を大いに喜ばせます:	A. 命の木は神と神の意志を代表し、善悪知識の木はサタンとサタンの意志を代表し、アダムは人と人の意志を代表しています。私たちが多くの霊的な祝福を失ってきたのは、命の木の原則にしたがって、また私たちの祈りを通して、神のみこころを言い表すことをしなかつたからです。
	B. 真の祈りの人は、彼の願いが神の願いの中へと完全にブレンドされている人であり、彼の思考が神の思考と完全に一である人です。彼は、神の願いが彼の中に刷り込まれている人であり、また啓示の人であって、彼の心は神の心の複製です。
	C. 私たちの欲を満足させるために、私たちの必要から出て来る祈りは、神によって答えられるかもしれませんが、それには何の霊的な価値もありません。そして、私たちは彼の御前に弱くなり、彼に喜ばれないでしょう。
	D. 神によって開始され、神が開始された事に呼応する祈りだけに、霊的な価値があります。私たちはこのような祈りを学ばなければなりません。
	E. 私たちは祈りの中で主に来的时候、その霊に私たちの願いと彼の願いをミングリングしていただき、私たちの思考を彼の思考の中へともたらしめていただき、彼の願いと思考を私たちの中へと刷り込んでいただく必要があります。その時、私たちが神の内側の願いをもって彼に向かって発する祈りは、彼にとって尊く、重みがあり、また価値あるものであって、サタンに損失を被らせません。
F. 祈りとすべての霊的な働きの真の意義は、それらが四つの段階から成っているということです:	1. 神は、彼のみこころにしたがって事を行なうことを意図しています。
	2. 神は、その霊を通して、私たちに彼のみこころを啓示して、私たちに彼のみこころを知らせます。
	3. 私たちは彼のみこころに呼応し、彼に祈り返します。
	4. 神は、彼のみこころにしたがって、彼のみわざを達成します。
G. 神は、人が復活の意志をもって霊を活用し、神の神聖なみこころにしたがって祈ることを必要としておられます。そのみこころは、キリストが私たちによって現され享受されることであり、またからだの生活が私たちによって実行されることであり、キリストのからだを通して建造されることです。	
H. 私たちは神のエコノミーを完成するために、神の願いとみこころにしたがって祈らなければなりません。その時、私たちは祈ったことを受けたという確信を持つようになります。	
II. ハンナの祈りは、神の心の願いに呼応し、それを語り出すことでした。それは、人が神の行動に協力することであり、神の永遠のエコノミーを完成するためでした:	A. 神は、命の路線において神と一であった人であるハンナを動機づけることができました。命の路線とは、神の民の享受のためにキリストを生み出す路線であって、それは地上で、神が彼の王国、すなわち、キリストのからだである召会、三一の神の有機体を持つためです。
	B. 神は、命の路線において彼と一である人を得ることができさえすれば、地上で道を持ちます。ハンナの祈りが示していることは、神の行動とハンナの祈りに対する彼の答えが、神の願いを成就するために絶対的であるナジル人、勝利者を生み出すことであったということです。
III. エリヤは「私たちと同じ性情を持つ人で…祈りの中で祈りました」(ヤコブ 5:17—直訳):	A. 主からの祈りがエリヤに与えられ、エリヤはその祈りの中で祈りました。エリヤは、主のみこころを成就するために、主によって与えられた祈りの中で祈りました。
	B. エリヤは、自分自身の目的を達成するために、彼の感覚、思想、意図、気分の中で祈ることをせず、また環境や状況によって生じるものに動機づけられて祈ることもしませんでした。
IV. ダニエルは祈りの人であって、神の言葉を通して、神の願いに自分自身を結合しました。自分自身を神の言葉に結合し、神のエコノミーの祈りをする人たちだけが、神にとって真に役に立つことができます:	A. 神と協力する人の最高の表現は、祈りにあります。そのような人は神にとって尊い人であり、さらには尊さそのものです。
	B. ダニエルは祈りに依り頼んで、人が行なうことができなかつた事を行ないました。また彼は祈りに依り頼んで、人が理解することができなかつた事を理解しました。
V. アブラハムは神との親密な交わりの中に生き、神の友となりました。	A. アブラハムが神の御前で行なつた栄光のとりなしは、二人の友の間にある人間的で親密な会話であり、また神の心の願いを明らかにすることにしたがった親密な語り合ひでした。
	B. アブラハムは神との甘い交わりを享受していた時、イサクの誕生とソドムの破壊に関する啓示を神から受けました:
	1. これが示していることは、神の意図がキリストを私たちの中へと造り込み、私たちを通してキリストを生み出すことであり、また私たちの家庭生活、職場での生活、クリスチャン生活、召会生活の中で「ソドム」を破壊することであるということです。
	2. 私たちと神との親密な交わりにおいて、すべての不可能はキリストにとっては可能になるという啓示を、私たちは受けます。

<p>キリストとしてのエホバは、肉体と成る前でさえ、人の形において、また人の体をもってアブラハムに現れ、人の水準でアブラハムと親しく語りました。</p>	<p>C. 神がゾドムを破壊するという彼の意図をアブラハムに啓示したのは、神が、とりなす人を尋ね求めていたからでした。</p>	
<p>VI. マタイ第 6 章において主が弟子たちに教えた祈りの模範は、神のみこころを言い表す祈りです：</p>	<p>D. 創世記第 18 章はとりなしの基本的な原則について、はっきりとした啓示を提示しています：</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正しいとりなしは、人によって開始されるのではなく、神の啓示によって開始されます。このゆえに、それは神の願いを言い表し、神のみこころを完成します。</li> <li>2. 一見すると、アブラハムはゾドムのためにとりなしていました。実は、彼はそれとなく示すことによって、ロトのためにとりなしていました。これは、私たちがこの世の中へと陥ってしまった神の民のためにとりなすべきであることを示しています。</li> <li>3. とりなしは、神の心の内側の意図にしたがって、神と親密に会話することです。このために、私たちは神の臨在の中にとどまり続けることを学ばなければなりません。</li> <li>4. とりなしは、神の義の方法にしたがっています。アブラハムは、ロトのためにとりなすことにおいて、神の愛と恵みにしたがって神に願い求めたのではなく、神の義の方法にしたがって神に挑戦しました。</li> <li>5. アブラハムのとりなしは、彼の語りかけをもって終わったのではなく、神の語りかけをもって終わりました。これは、真のとりなしが、私たちの語りかけの中にある神の語りかけであることを示しています。</li> </ol>
	<p>A. 祈りの原則とは、隠れて見ている私たちの御父によって見られるために、隠れて祈ることです。私たちは隠れた方法で、主に祈り、主を礼拝し、主と接触し、主と交わる必要があります：</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 私たちが命において成長することを最も妨げるものは、自己です。自己は公に人の前で事を行なうのを喜び、人の栄光を受けようとします。</li> <li>2. 私たちが御父の隠された命によって生きるなら、私たちは多く祈っても、他の人は私たちがどれほど多く祈ったかを知ることはありません。</li> </ol>
	<p>B. マタイ第 6 章 9 節から 13 節は、「天におられる私たちの父」に「このように祈る」ように、主が私たちに教えたものです(9 節)。この祈りの模範は、三つの区分に分けることができます：</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神に関する三つの基本的な祈りは、神聖な三一と関係があります。「あなたの御名が聖とされますように(9 節)」はおもに御父と関係があり、「あなたの王国が来ますように(10 節)」はおもに御子と関係があり、「あなたのみこころが…行なわれますように(10 節)」はおもにその霊と関係があります：</li> </ol>
	<p>2. 私たちの必要に関する三つの要求は、保護の祈りです。「私たちの日ごとのパンを、今日も与えてください。私たちが自分に負債のある者を赦したように、私たちの負債も赦してください。私たちが試みに遭わせないで、あの邪悪な者から救い出してください(11-13 節)：</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>a. このことは、この時代に成就されつつあり、そして王国時代において究極的に成就されます。その時、神の御名は全地において卓越し、世の王国はキリストの王国となり、神のみこころは成就されます。</li> <li>b. キリストはサタンの反逆と人の墮落の後に来て、天の支配を地にもたらしました。それは、地が神の権益のために回復されて、神のみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれることができるためです。地が来たるべき王国時代における神のみこころのために完全に回復されるまで、王国の民はこのことのために祈らなければなりません。</li> </ol>
	<p>3. 御父への祈りは、ほめたたえる祈りである三つの敬虔な賛美をもって結んでいます。「それは王国と力と栄光とが、永遠にあなたのものであるからです。アーメン(13 節)」。王国は御子のものであって、神がご自身の力を行使する領域です。力はその霊のものであって、この力は神の意図を完成します。それは御父が栄光の中で彼の団体の表現を持つためです：</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>a. 「日ごとのパン(11 節)」は、信仰によって生きることを示しています。私たちは信仰によって生き、また御父の日ごとの供給に頼って生活すべきです。</li> <li>b. 王国の民は、自分に負債のある者を赦して、(キリストの裁定する平安によって)平安を維持したように、自分たちの負債、失敗、違反を赦してください。御父に求めるべきです。私たちは、私たちと神との間の、また私たちと他の人々との間の分離するどのような要素も取り除かなければなりません。</li> <li>c. 私たちは自分の弱さを知っているので、私たちが試みに遭わせないよう、また(その霊で満たされることによって)あの邪悪な者である悪魔と、彼から出る邪悪とから救い出されるよう、御父に求めるべきです。</li> </ol>
<p>C. そのような極めて重要な祈りは、私たちに御父の心の願いである天の王国をさらに多く尋ね求めさせ、私たちの必要を供給し、私たちに恵みの神聖な供給を得させて、天の王国の最も高くて厳格な要求をすべて満たさせ、神を大いに喜ばせます。</p>		

## 経験

- ① 私たちは幼く弱いのですが、やはり神の御前へと来て、彼の霊に私たちの願いと神の願いをミングリングしていただき、私たちの思考を彼の思考の中へともたらしていただかなければなりません。そうすれば私たちは彼の願いと思考に触れ、それにあずかることができます。私たちはこうするなら、神の道と、人に対する神の要求を理解するでしょう。…私たちは神の霊によって、神の心の中へともたらしていただくべきです。

私たちは時間を費やしてこの学課を学ぶべきです。私たちがこのように祈り始めるとき、多く言ったり考えたりする必要はありません。私たちの心は静まり、平穩であるべきです。私たちは、遭遇した事柄を神の御前へともたらして考えることができ、あるいはこれらの事柄について忘れ、ただ神の御言を思い巡らすこともできます。…実は、私たちは…ただ神を待ち望めばよいのです。私たちがこのようにして神を待ち望むとき、何か私たちに臨み、私たちが何かを得ます。そして私たちは神の願いに触れるのです。最大の知恵は、このように待ち望むことから来ます。このようにして、私たちの願いは神の願いとミングリングされ、私たちの思考は神の思考と一になります。これに基づいて、私たちは神に祈ることができます。

結婚生活編: 結婚によって配偶者を得ることで、あなたは大きな助けを得ることができます。しかし、配偶者から助けを得るために、性格の違い、生活背景の違い、経済的な物事に対する考えの違いなどの多くの違いを乗り越えていかなければなりません。子供が生まれたり、様々な環境上の忙しさのゆえに、夫婦の間の正常な関係を顧慮することを忘れていたり、無視したりすることがあります。このような状況になると(配偶者が現在未信者の場合も同じです)、どのような目的のために主によって導かれ、結婚に至ったのかを忘れてしまい、結婚生活は大混乱に陥ります。あなたはこのような状況の中で、主の御前へ出て、神の御心とあなたの結婚が密接な関係があり、結婚生活が積極的な目的、御心の成就のためにあることを思い起こし、祈る必要があります。世の中の人のように、性格の不一致によって、離婚に至らなくても、性格の不一致により、積極的な目的を見失ってはいけません。あなたが勝利者となるため、御心を実行するために、配偶者はアレンジされているのですから、主を仰ぎ見て、待ち望み、主の霊があなたに語っていただくようにするべきです。そうすれば、あなたは主の霊によって結婚生活に関する最高の知恵を得ることができます。あなたはどのような状況であっても、御心にしたがって、結婚生活を主のために建造してください。

- ② 神は、命の路線において神と一であった人であるハンナを動機づけることができました。神はそのような人を得ることができさえすれば、地上で道を持ちます。私は、私たちのうちの少なくとも何人かが今日のハンナとなって、こう言うことを望みます、「主よ、あなたの定められた御旨のために、あなたの心に何か達成したいことがあるなら、私はここにいます。私はあなたのエコノミーを完成するために、命の路線にとどまっています」。あなたがこのように祈るなら、あなたは神が動かす人になると、私は十分に確信します。彼はあなたに来てあなたを動機づけられます。神は多くのハンナを、すなわち、何人かのサムエルを生み出して時代を転換させることができる人を必要としておられます。

サムエルの起源は、特に神を追い求める母親とその祈りでした。彼女の祈りは、神の心の願いへの呼応でした。彼女の祈りは、人が神の行動に協力することであり、それは神の永遠のエコノミーを完成するためでした。

ビジネス・ライフ編: 正常なビジネス・パーソンは、全時間奉仕者の霊をもっているべきです。あなたが仕事をするのは表面的には経済的に自立し、家庭を支えるためです。しかし霊的な観点からみると、あなたが働くのはキリストと召会のためでなければなりません。もしあなたがこのようなビジョンを明確に持っていなければ、遅かれ早かれ召会生活に対して心を失い、召会生活から離れて行くようになってしまいます。ハンナは神の心の願いに呼応し、それを祈りました。同様にあなたはビジネス・ライフを主にささげ、ビジネス・ライフにおいて、キリストのからだを建造するために、キリストを経験し、キリストを表現できるように祈ってください。主が御心にしたがってあなたのビジネス・ライフを高く引き上げてくださいますように。アーメン！

- ③ ダニエルは常に祈っている人でした。彼の祈りは全く普通のものではありませんでした。彼の祈りは時代を転換させる祈りでした。毎回、彼はある極めて重要な事柄に遭遇したとき、神の御前で祈りました。彼は絶対的に祈りを信じました。彼が祈りを信じたのは、自分自身ではなく神を信じたからです。

ダニエルの祈りは最高峰に達しました。彼は神に、ご自身のために事を行なってくださるよう求めました。彼は祈りました、『主のために』、荒れ果てたあなたの聖なる所の上に、あなたの御顔を輝かせてください(ダニエル 9:17)。私は、私たちが「主のために」という言葉を丸で囲むように望みます。私たちは、彼の祈りが完全に自分自身のためではなく、神のためであったのを見ることができます。彼は神にこう言っていたかのようです、「今日ここでの私の懇願は、私自身のためではなく、あなたのためです。たとえ私があなたに何かを行なってくださるよう求めても、それは私自身のためではなく、あなたのためです」。これはとても特別な祈りでした。それはまた最高の祈りでした。私たちの祈りは九十九パーセント、私たち自身のためです。神のためであるのはほとんどありません。専一に神に祈ったダニエルのような人だけが、神に用いられて時代を転換することができます。

ビジネス・ライフ編: ダニエルは神の民の捕囚と神の宮の破壊の時代から、宮の再建の時代に転換させた人でした。今日は終わりの時代です(この世の人ですら、このように言っています)。主は召会の時代から王国の時代に転換させようとしています。このような状況で、時代を転換させるために主と協力するダニエルのような人が必要です。特に在職青年は、このビジョンを持ち、祈ってください。ダニエルは在職者であり、王の次の位の人でしたから、重い責任を担い勤勉に働いていた人でした。あなたはこのことを見て、主に次のように祈ってください、「主イエスよ、私は今、ここにいます。あなたは時代を転換しようとしています。私を助けて、私のビジネス・ライフが御心を実行し、時代を転換することを協力する生活であるようにしてください」。

### 568 祈り—主と交わる

1. 主とまじわるため、れいをもちいて、  
主の御かおたずね、臨ざいもとめる。  
(復)かおおおいなしに、主を見つめつつ  
かくれたところで、ひたすらいのる。
2. 主とまじわるため、うちをひらいて、  
真じつとまことで、単いつにいのる。
3. 主とまじわるため、れいにていのる；  
信こうもてもとめ、主を待ちのぞむ。
4. 霊としんじつもて、主とまじわりし、  
れいのかんかくに したがい、いのる。
5. 主のかたりかけを せつにもとめる；  
主のころを知って、御むねをいのる。
6. 御かおのかがやき、われを照らして、  
われにしんとうし、えい光かがやく。

### #568 祷告—与主交通

1. 祷告与主来往交通，祂面灵里来寻求；  
祂前求问并且静听，隐密之处来等候。  
(副) 祷告与主来往交通，祂面灵里来寻求；  
祂前求问并且静听，隐密之处来等候。
2. 祷告与主来往交通，从你里面全敞开；  
敞着脸面将祂瞻仰，单一、纯洁又实在。
3. 祷告与主来往交通，凭信将祂来寻求；  
学习来摸祂这活灵，恭敬、仰望并等候。
4. 祷告与主来往交通，以灵、以真为秘诀；  
总要凭灵祷告、求问，照着里面的感觉。
5. 祷告与主来往交通，诚恳静听祂所言；  
让祂心意印刻于你，使你成全祂心愿。
6. 祷告与主来往交通，沐浴在祂面光中；  
让祂荣美将你浸透，使你返照祂面容。

### #784 Prayer - Fellowship With The Lord

1. Pray to fellowship with Jesus,  
In the spirit seek His face;  
Ask and listen in His presence,  
Waiting in the secret place.  
(Chorus)  
Pray to fellowship with Jesus,  
In the spirit seek His face;  
Ask and listen in His presence,  
Waiting in the secret place.
2. Pray to fellowship with Jesus,  
Fully opened from within,  
With thy face unveiled, beholding,  
Single, pure, and genuine.
3. Pray to fellowship with Jesus,  
Seeking Him in confidence;  
Learn to touch Him as the Spirit,  
Looking up in reverence.
4. Pray to fellowship with Jesus,  
Speaking nothing in pretense;  
Ask according to the spirit,  
Praying by the inner sense.
5. Pray to fellowship with Jesus,  
List'ning earnestly to Him;  
Be impressed with His intentions,  
Yielding to Him from within.
6. Pray to fellowship with Jesus,  
Bathing in His countenance;  
Saturated with His beauty,  
Radiate His excellence.